

日本海洋学会 2013 年度第 1 回幹事会 議事録

日時：2013 年 3 月 21 日（木） 18：00～20：00

場所：東京海洋大学品川キャンパス 9 号館 203 号室

出席者：植松会長、須賀副会長、岡、小畑、神田、川合、河野、久保田、鈴木、津田、原田、日比谷、山中、寄高

事務局毎日学術フォーラム（出戸、平坂）

議題

1. 幹事の役割担当について

2013 年度幹事の担当を以下のように決定した。

須賀 利雄（副会長、未来技術研究会、科学振興財団、若手支援[仮称]）

岡 英太郎（庶務、ブレークスルー）

小畑 元（庶務）

寄高 博行（会計、日本地球惑星科学連合）

河野 健（会計）

杉崎 宏哉（広報）

原田 尚美（広報、日本地球惑星科学連合）

神田 穰太（集会、教育問題、震災対応）

川合 美千代（集会、教育問題）

山中 吾郎（選挙新、研究発表）

鈴木 昌弘（研究発表、選挙、海洋環境問題）

日比谷 紀之（JO）

久保田 雅久（海の研究）

津田 敦（JOSNL、水産・海洋学研究連絡協議会）

2. 審議事項

(1) 2012 年度第 7 回議事録案について（神田幹事）

2012 年度第 7 回幹事会の議事録を確認した。審議事項 (8) の宇宙基本計画に関する見解のとりまとめについては、花輪前会長との相談の上で担当者を決めることが確認された。

(2) 2012 年度事業報告について（岡幹事）

2012 年度の事業報告の説明があり、承認された。

(3) 2013 年事業計画について（岡幹事）

2013 年度の事業計画の説明があった。若手の研究集会の助成を新たに行うこととした。

(4) 2012 年度収支決算報告について（寄高幹事）

2012 年度決算報告の説明があった。また、貸借対照表、監査報告書を確認した。

(5) 2013 年度予算について（寄高幹事）

2013 年度予算案の説明があった。名簿と記念誌の発行がないこと、ニュースレターの発行経費を削減したこと、若手集会助成金として新たに 10 万を計上したこと、などが報告された。

(6) 春季評議員会議事次第および通常総会議事次第案について（岡幹事）

(a) 春季評議員会議事次第と通常総会議事次第の説明があり、担当者と資料の確認を行った。

(b) 評議員会の審議事項である「評議員の交代について」を大会委員長の挨拶の次に審議することを確認した。

(c) 評議員会の審議事項に「ブレイクスルー研究会会則について」を加えることとした。

(d) 総会資料の報告者名はフルネームで表記することとした。

(7) 将来構想委員会について（植松会長）

2013 年 3 月をもって 2011-12 年度の活動を終了することとした。

(8) J0 二重投稿について（日比谷幹事）

J0 に投稿・掲載された論文が二重に投稿されていたことについて、経緯の説明があった。処遇については編集委員会で決定し、評議員委員会にて報告することとした。

(9) 2012 年度青い海助成事業の応募課題の審査（鈴木幹事）

海洋環境問題委員会案を承認した。必ずしも毎年 2 件採択する必要はないことを確認した。また、環境科学賞候補については「候補者なし」も選択肢に含めてよいのではないかという案が出され、今後検討することとした。

3. 報告事項

(1) 学界動向報告について（須賀副会長）

学界動向の報告は、大会前のニュースレターに掲載し、評議会および総会ではハイライトおよび最新情報のみを紹介することにした。

(2) J0（日比谷幹事）

2012 年度の発行状況および編集委員の交代予定についての報告があった。

(3) 海の研究（久保田幹事）

2012年度の発行状況についての報告があった。2012年度にカラーページの印刷代(200部)として80万円を学会が支払ったが、2009年7月に「紙媒体の図は全て白黒とする」という案内が会員に送られていることから、今後は200部の印刷を白黒にすることとなった。

(4) JOSNL (津田幹事)

2012年度のJOSNL発行についての報告があった。新たに若手コラムを加えること、将来構想委員会の活動報告を掲載することが報告された。

(5) 研究発表 (鈴木幹事)

2013年度以降の大会開催予定についての報告があった。

(6) 広報 (杉崎幹事)

海洋学会のウェブサイトを更新し、公開したことが報告された。

(7) 集会 (川合幹事)

地学オリンピックおよび地球惑星連合の教育問題委員会の担当を島田から川合に変更することが報告された。

(8) 地球惑星連合 (原田幹事)

セクション名を「大気水圏科学セクション」に変更したこと、2014年発刊予定のe-journalの編集委員会に日比谷幹事が参加すること、宇宙開発利用に関する意見書を内閣府に提出したこと、「広域大気汚染の問題と大気正常化に向けた努力」という談話を発表したこと、および2013年および2014年に開催予定のJpGU大会についての報告があった。

(9) 海洋環境問題研究会 (鈴木幹事)

代表が交代することについて報告があった。

(10) 日本科学未来技術研究会 (須賀副会長)

海洋未来技術研究会海外渡航援助についての募集、採択の報告があった。下半期に1件追加募集を行う予定であることが報告された。

(11) 将来構想委員会 (津田幹事)

将来構想委員会の活動についての報告があった。1年間の議論の結果を報告書としてまとめ、大会シンポジウムでも報告を行った。最終報告書は海の研究に掲載する予定である。また、報告書に基づいて沖合・沿岸の2課題の大型研究課題案を作成した。

(12) 震災対応WG (神田幹事)

2013年3月をもって解散となった。活動内容と得られた結果について2013年度春季大会のシンポジウムおよびJpGUにて報告する。また、報告書を取りまとめる予定である。新たな震災対応委員会の設置については次回以降の審議事項とする。

(13) 水産・海洋学研究連絡協議会（津田幹事）

水産・海洋学研究連絡協議会について、情報収集の場として有効であり、今後も参加することが報告された。